ROCK PAINT

エコロック　アンチスクラッチクリヤーBP (Bio Power)

環境配慮型　3:1　バイオマス アクリルウレタン高機能性クリヤー

商品概要・用途

エコロック アンチスクラッチクリヤーBPは、洗車ブラシや砂塵、木の枝などによる細かい擦り傷が付きにくく、さらに軽度の傷であれば自己復元を可能とした環境配慮型の高機能性クリヤーです。トヨタ自動車が採用している高機能性クリヤー「Self-Restoring Coat」の補修用クリヤーとしてご使用いただけます。
また、本品は硬化塗膜中にバイオマス原材料を15%以上含有しており、石油資源の節約と環境負荷低減に取り組んだバイオマスマーク認定商品（バイオマス度15）です。

バイオマス
使用部位：硬化塗膜
No.230148

品目コード（品番・缶種）・品名・容量 / 商品外観

149-8851-01/02	エコロック　アンチスクラッチクリヤーBP	16L/4L
149-8821-02/03	エコロック　アンチスクラッチクリヤーBP　硬化剤（標準型）	4kg/1kg
149-8831-02/03	エコロック　アンチスクラッチクリヤーBP　硬化剤（遅乾型）	4kg/1kg
149-8841-02/03	エコロック　アンチスクラッチクリヤーBP　硬化剤（超遅乾型）	4kg/1kg
149-8800-03	エコロック　アンチスクラッチクリヤー　ボカシ剤	0.946L

016-F77*-01/02	エコマルチシンナー　各種	16L（一部02缶種　3.785L）

特長

- 労働安全衛生法（特化則）に対応、PRTR届出不要の環境配慮型塗料です。（2025年 5月現在）
- 洗車機の高速回転ブラシなどによる細かい傷が入りにくく、熱ファクターにて軽度の傷を自己復元します。
- 高密度な架橋構造で柔軟性のある樹脂を採用している為、耐チッピング性や衝撃吸収性に優れています。
- 高光沢で肉持ち感のある肌に仕上がり、乾燥後の艶残りも良好です。
- 新しい樹脂架橋技術とバイオマス原料採用の相乗効果で、硬化速度・磨き作業性を向上しました。
- バイオマスマーク認定商品（No.230148、バイオマス度15）です。硬化塗膜にて、石油由来の原材料の15%以上を植物由来に置き換えることでカーボンニュートラルへの取り組みに貢献します。

バイオマスマークとは

バイオマス
使用部位：硬化塗膜
No.230148

バイオマスマークとは再生可能な生物由来の資源（バイオマス）を活用し、一般社団法人日本有機資源協会により認定を受けた商品の目印です。

バイオマスマーク認定商品とは

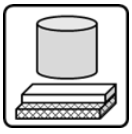
商品に含まれているバイオマスの割合が乾燥重量10%以上であることを、一般社団法人日本有機資源協会より認定を受けた商品がバイオマスマーク認定商品です。
植物は太陽光をエネルギーとした光合成により大気中のCO_2を吸収して成長するため、植物等バイオマスから作られる商品は、燃やしてもCO_2の増減に影響を与えません（カーボンニュートラル）。そのため、地球温暖化の原因となる温室効果ガスを増やさないと言えます。バイオマスマーク認定商品は循環型社会の形成に貢献し、地球温暖化防止に役立っています。

※ 認定商品検索ページ（日本有機資源協会）：https://www.jora.jp/certified_product/19360/

主剤と副剤

主　剤　：エコロック　アンチスクラッチクリヤーBP
硬化剤：エコロック　アンチスクラッチクリヤーBP 硬化剤　各種
希釈剤：エコマルチシンナー　#05～#40
※ HSエコマルチシンナーも使用可能です。
※ プロタッチシンナー、パナロックシンナーも使用可能です。(非環境配慮型シンナー)
※ シンナー選定の詳細は『エコマルチシンナー』、『HSエコマルチシンナー』のTDSを参照してください。
副　剤　：エコロック　アンチスクラッチクリヤー　ボカシ剤

適用下塗り塗料



ロックペイント車両用塗料：　979L / 077L / 088L

注意事項

・基本的にブロック塗装の実施を推奨します。
・下地処理、ゴミ・ブツ取り工程時には、深いペーパー傷に注意した作業配慮が必要です。
・クリヤーをボカシ塗装する際は、専用のボカシ剤(149-8800)を必ず使用してください。
・クリヤーをボカシ塗装したボカシ際は、60℃×30分以上の強制乾燥が必要です。
・塗膜に可とう性がある為、樹脂製品(バンパ等)の塗装は鋼板用仕様と同様になります。

硬化剤選択表

エコロック アンチスクラッチクリヤーBP 硬化剤	塗装室温度(℃) 5	10	15	20	25	30	35	40	45	50
149-8821　標準型	■	■	■	■	■	■				
149-8831　遅乾型						■	■	■		
149-8841　超遅乾型							■	■	■	■

※ 最適硬化剤は湿度、風速など種々の条件によって変わります。
※ 2種類の硬化剤が重複している範囲では、互いの硬化剤を混合するとより効果的です。
※ 硬化剤の種類によってポリッシング作業時間までの強制乾燥時間は変わりません。
※ シンナー選定の詳細は『エコマルチシンナー』、『HSエコマルチシンナー』のTDSを参照してください。

保管条件 / 貯蔵安定期間

5℃～40℃　　3年間　(未開封時)

保護具 / 安全衛生

適切な安全保護具を着装してください。

詳細は安全データシート(SDS)を参照してください。

標準塗装条件

100 33.3	100	エコロック　アンチスクラッチクリヤーBP エコロック　アンチスクラッチクリヤーBP　硬化剤　各種
	10-25	エコマルチシンナー　各種

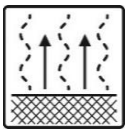
希釈時　20℃/10～12秒 イワタカップ

10℃/3時間　20℃/2時間　30℃/1.5時間

スプレーガン口径　1.3～1.6mm
スプレー圧力　0.2～0.3MPa （手元圧力）

2～3回　シングルコート
2回仕上げ：1回目　ミディアムコート(8分艶程度)
2回目　ウェットコート
3回仕上げ：1回目　ライトコート(3分艶程度)
2回目　ミディアムコート(8分艶程度)
3回目　ウェットコート
※ 各コート間の塗り重ね前には、必ずフラッシュオフ タイムを取ってください。

50～60μm （2～3回）



各コート間のフラッシュオフ　20℃/ 5～10分
強制乾燥までのセッティング　20℃/ 15～25分

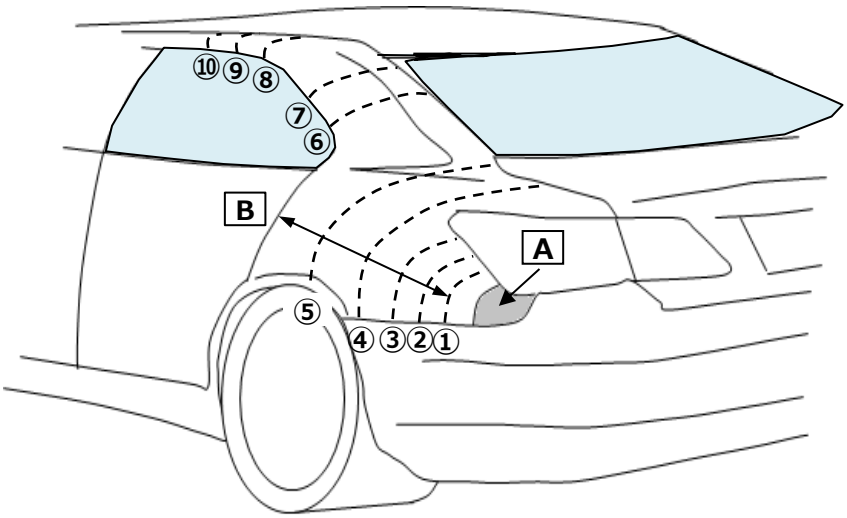
強制乾燥　60℃×15分以上 / ボカシ部　60℃×30分以上
※ 被塗物の温度が上記の温度に達してからの経過時間を表します。

注意事項

- 特に仕上がり品質を重視される場合、カラーレイヤー（色の層）と本トップコートクリヤーの間にアンダーコートクリヤー塗装工程の実施を推奨します。
- アンダーコートクリヤーは通常の各種トップコートクリヤーを使用してください。
- カラーレイヤーをパナロックで塗装された場合には、戻りムラに注意を払ってください。クリヤーコート1回目は、ライトコート（2分艶程度）でバリヤーコートの実施を推奨します。
  また、極端に2液反応が遅くなる10℃以下の塗装環境下では、各コート間のフラッシュオフタイムを十分に取ってから塗り重ねを行ってください。

【参考例】クォーターパネル ボカシ塗装

【 クォーターパネル補修例 図 】



◆下地処理（上記クォーターパネル補修例 図1 参照）

A ～ ② の範囲　P400→P600→P800以上で研磨する。
① ～ ④ の範囲　P1500
③ ～ ⑧ の範囲　P2500
⑦ ～ ⑨ の範囲　P3000
⑧ ～ ⑩ の範囲　細目程度のコンパウンドを用いて足付けを行う。
A ～ ⑩ の範囲　脱脂作業：脱脂剤で清掃・脱脂を行い、最終タッククロスにて清浄な面とします。

◆カラーレイヤー（色の層）の塗装　A　～　B

※ 例　プロタッチ（077L）　色タイプ：メタ／パールカラーベース
※ 使用するベースコートのTDSを参照し、塗装してください。
① の範囲　1回目　薄く均一に塗装し、ハジキチェックを行う
② の範囲　2回目　ミディアムコートで色決め
③ の範囲　3回目　ミディアムコートで色決め＆ボカシ塗装
④ の範囲　4回目　ムラ取り＆ボカシ塗装
⑤ の範囲　5回目　ムラ取り＆ボカシ塗装

◆トップコートクリヤー（エコロック アンチスクラッチクリヤーBP）の塗装

2回仕上げ　1回目　⑦ の範囲　ミディアムコート(8分艶程度)
　　2回目　⑧ の範囲　ウェットコート

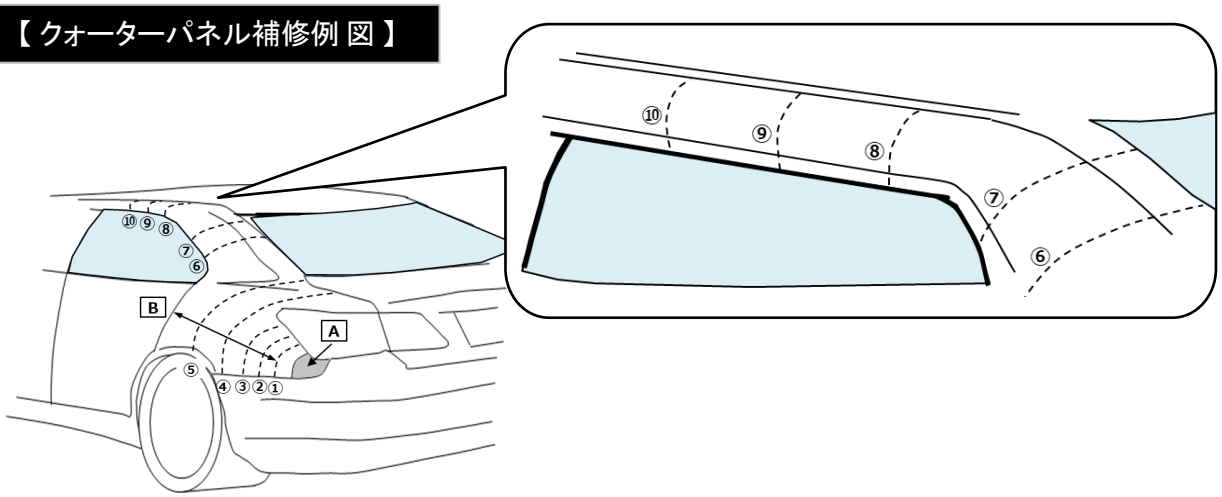
3回仕上げ　1回目　⑥ の範囲　ライトコート(3分艶程度)
　　2回目　⑦ の範囲　ミディアムコート(8分艶程度)
　　3回目　⑧ の範囲　ウェットコート

エコロック　アンチスクラッチクリヤーBP

For Professional Use Only

【参考例】クォーターパネル ボカシ塗装

【 クォーターパネル補修例 図 】



■TCC ボカシ塗装 例

ボカシ塗装工程			作業要領	塗装回数	ポイント
TCC（トップコートクリヤー）	塗装		●エコロック　アンチスクラッチクリヤーBP （A） 149-8851 主剤 100 ： 149-88** 硬化剤 33 ： 016-F77* エコマルチシンナー 10～25 100	1	・【ｸｫｰﾀｰﾊﾟﾈﾙ補修例図】の⑥のﾗｲﾝまでﾗｲﾄｺｰﾄ(3分艶程度)。 ・2回仕上げの際は、ﾗｲﾄｺｰﾄはｽｷｯﾌﾟ。
				1	・【ｸｫｰﾀｰﾊﾟﾈﾙ補修例図】の⑦のﾗｲﾝまでﾐﾃﾞｨｱﾑｺｰﾄ(8分艶程度)。
				1	・【ｸｫｰﾀｰﾊﾟﾈﾙ補修例図】の⑧のﾗｲﾝまでｳｪｯﾄｺｰﾄ。
	ボカシ塗装		※以下の作業はﾐｽﾄが乾燥しないよう続けて行う。 （B） （A） 100 ： 016-F77* エコマルチシンナー 50	1～2	・【ｸｫｰﾀｰﾊﾟﾈﾙ補修例図】の⑦～⑨の範囲まで塗装。
			（C） （B） 100 ： 149-8800 専用ﾎﾞｶｼ剤 50	1～2	・【ｸｫｰﾀｰﾊﾟﾈﾙ補修例図】の⑥～⑩の範囲まで塗装。 ・最終ﾎﾞｶｼ際は、特にﾐｽﾄのなじみ具合に留意する。0.8～1.0mmｶﾞﾝの使用でさらにﾐｽﾄがなじみます。
	ｾｯﾃｨﾝｸﾞ		20℃　×　15分以上		
	強制乾燥		ボカシ部以外　60℃　×　15分以上		・ﾎﾞｶｼ部含めて全体を強制乾燥。
			ボカシ部　60℃　×　30分以上		・【ｸｫｰﾀｰﾊﾟﾈﾙ補修例図】の拡大図の範囲。

※ 各乾燥は、被塗物がその温度領域に達してからの時間となります。

■Copyright ⓒ 2025 ROCK PAINT CO.,LTD. All Rights Reserved.
本データシートの内容については予告なく変更する場合があります。また著作権などの法律で保護されており、無断で転載、複製することを固く禁止します。
本データシートは参考資料としての位置付けにて、特定の品質や使用に関する適正または塗装の結果を保証するものではありません。
実際の塗装等作業には、環境面をはじめ種々のファクターが介在致します。事前に試験塗装を行い確認を実施いただきますようお願い致します。
本データシートを使用して生じたいかなる塗装結果及び損害についても、弊社は一切の責任を負いかねます。予めご了承ください。